

医大保健科学部 駅前キャンパスの特徴

【教育環境】

- 大空間の講義室や実習室を確保する柱 CFT による鉄骨造の大スパン架構
- 医療現場に近い放射線機器室の環境
 - ・実習に配慮した大きな鉛ガラス窓等の採用
 - ・医療用同等の脳波シールド室
- 高価な医療機器を守り利便性・快適性を高める地階の 2 重壁構造
 - ・地下水位の高い敷地に対応した SMW 山留壁
- 化学的な実験実習の排気には集約排気処理施設を設け、将来の実験スタイルへの変更対応可能なシステム
- 水治療等の浴室実習が可能な屋内実習室の防水加工

【安全・安心】

- 非接触型の水洗を積極的に採用し感染症対策を図る
- 制震ダンパー、制震壁で地震に対する安全性・快適性を高める
- 近年のゲリラ豪雨に対処し受変電・非常用発電設備は屋上に設置
- 停電時 10 時間運転可能な自家発電装置の設置

【快適】

- 福島駅からの利便性を重視した計画
- 県産木材を利用した温かみのある外観デザイン
- 屋上広場やラウンジ等学生生活の憩いの場を提供
- 各階 2 つのゾーン空調による負荷変動の異なる環境に対応
- 西側諸室の西日対策としてブラインド内蔵サッシにより太陽光を遮蔽

【環境】

- 温熱環境・省エネに配慮したダブルスキン換気システム
- エントランス大空間の輻射冷暖房方式による快適性・省エネ性能の向上を図る
- 太陽光発電による創エネ、昼光センサー制御による省エネ・光環境の向上の実現
- リモコン回路による照明の中央点滅制御